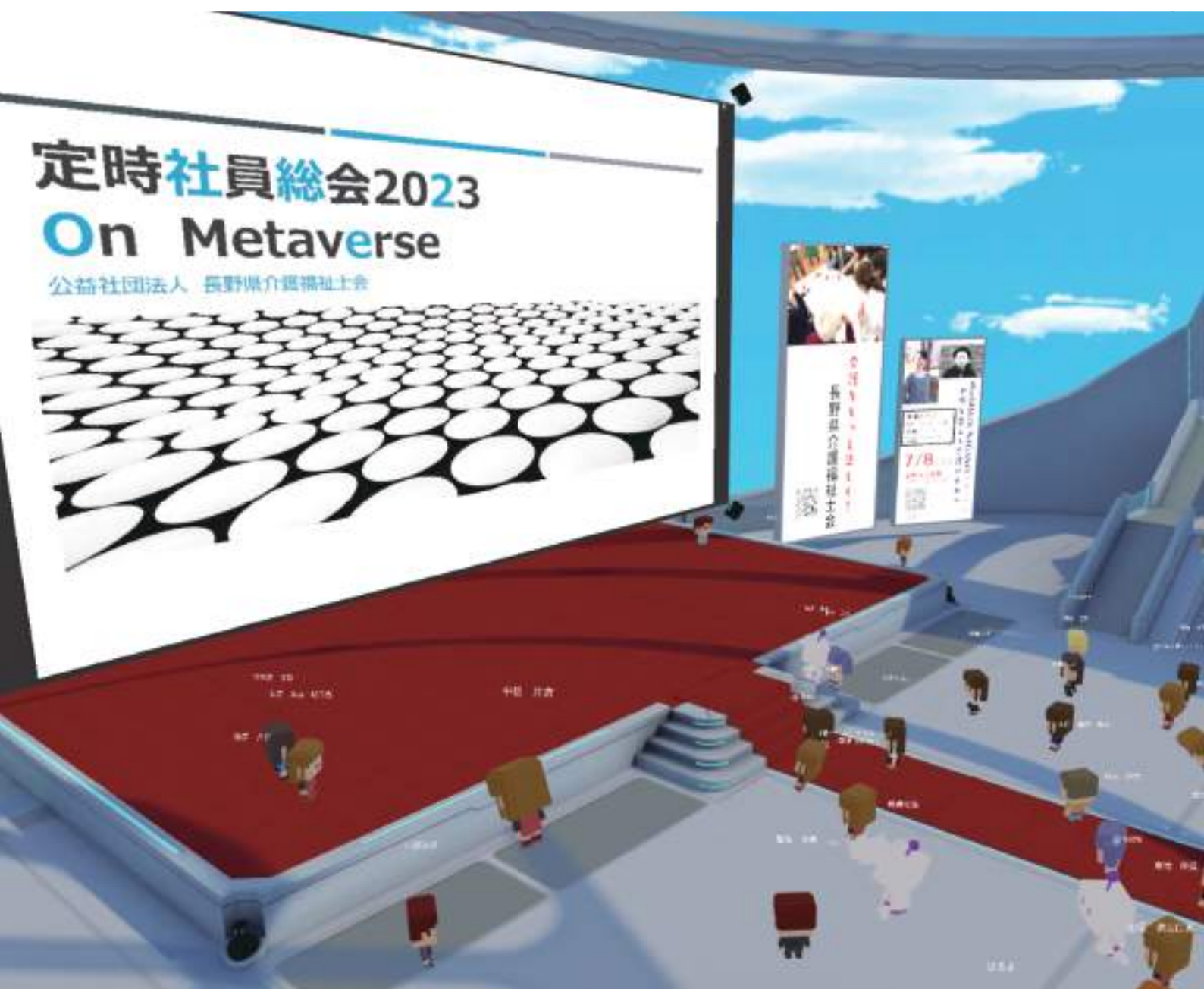


CareWorkしなの



Contents

- 01 総会当日の様子をご紹介
- 02 社員総会の裏側大公開
- 03 新体制 各支部長からごあいさつ
- 05 ファースト研修報告・認定介護福祉士養成講座
- 06 事務局からのお知らせ
- 07 編集後記

Topics 01

メタバース総会無事終了!

Topics 02

総会の裏側お見せします!

Topics
01

介護福祉士会全国初!メタバース総会無事終了

全国初となるメタバース空間での総会

6/17(土)12時に開会した仮想空間メタバースでの総会。事前のお申込み数がなんと350名を超え、その中には一般の方2割、非会員の方2割、さらに県外からの参加者やメディア関係者にもご参加いただき、福祉業界全体からも注目を集めました!そんな総会でしたが、当日参加できなかった方々のためにごくごく一部ですがご紹介したいと思います。



毎年の総会で行う表彰式、事業報告、新会長副会長の紹介、実践発表もスクリーンに映し出しながら実施。表彰式に代表で選ばれた原さんもアバターで登壇です!



メイン会場で行われた飯島恵道さんの講演会&演奏会。なんと恵道さんのお寺からの中継で行われ、「仮想空間×お寺」の融合が見事に実現しました!



ギルドホールと名付けられた会場では日本介護福祉士の及川会長、広島県会長の吉岡さんなど大物ゲストが登場。普段話す機会のないお2人との双方向のトークが楽しめた空間でした。



skyパーク。この空間にはなんと歴代会長の小島さん、畠山さん、柳澤さんが!会長との楽しく為になる話の他に、実はここにはキーワードが隠されているという仕掛けが!

会員さんからの感想紹介



バーカウンターがある色っぽい空間、名付けてメタBar。カウンターの中に恵道ママが登場し、みなさんからの人生相談?に応えるという企画でした。

全国初メタバースで開催された、定時社員総会に参加しました。最初に計画を聞いた時に、「わぁ!面白そう!!やったことないけど...やっぱり初めて好きな長野県だね」とワクワク。何度かのお試し接続を経験していざ本番!お化粧品も、おしゃれも不要、何て楽しんだんでしょう(笑)

講演された恵道先生とBarを模したブースで直接お話することもできて、とても楽しく有意義な時間でした。ご苦労されたスタッフの皆さまありがとうございます(^.^) 中信支部 近田

Topics
02

総会の裏側お見せします！

メタバースの裏側で現実世界ではどうなっていたの？

さて、総会に参加して下さったみなさんからは見えなかった舞台裏。実際には運営側のPCトラブルも沢山起こり、ドタバタで冷や汗をかきながらのなが〜く感じた一日でした。そんな総会裏側を大公開！



3月末から総会本番まで、何度も何度も打ち合わせとリハーサルを重ねました。遅い時間にもかかわらず、いつも沢山の方が参加して下さり、成功させたい、良いものを作りたいという気持ちが伝わってきました。



総会当日は全部で4つの運営サテライトを設置。東信ではみまき福祉会さんが全面的に協力して下さり、4代目会長の柳澤さんもこちらから参加。



薬王山東昌寺。住職の恵道さんと実践発表の北村さんと箕浦さんもこちらから参加。サテライトリーダーの吉本さんは総会の裏側のビデオ撮影もして下さり、機材やITスキルの高さを発揮。



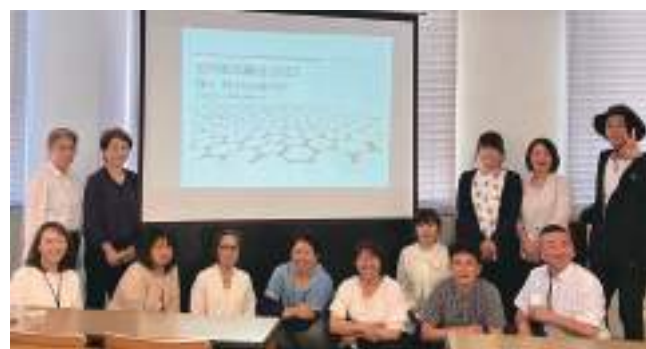
総会の議長を務めて下さった小笠原さん。マイクトラブルがある中、何とか切り抜けて下さり頼もしい議長さんでした。



「初代会長の頃は歩いてチラスを渡して回った話が心に残っています。その小島さんはメタバースを孫のゲームみたいと。総会・講演会を真剣に聞き、フリートーク時間は、相手の顔が見えないのが残念と言いつつも会えない会員と「久しぶりねえ」と喜ばれていました。」塩野崎さんより



初代会長の小島さんと3代目会長の畠山さんは山之内町のにこにこの湯から参加。そして元会長のお2人を北信の塩野崎さん、山岸さん、武田さん3名でサポート。



準備万端で臨んだはずの本番でしたが運営側にいくつものトラブル発生!!一日が本当に長く感じた日でした。それでもあきらめず各々が精一杯を尽くし最後はこの笑顔です。終わった瞬間の拍手が忘れられません。

新体制 各支部長のごあいさつ

北信支部

支部長 ● 成澤 正彦

北信支部は7つのブロック構成からなる支部になります。ここ数年、コロナ禍の関係もあり研修開催ができない状況が続いておりましたが、今年度より集合研修を再開しております。各ブロック、アイデア満載な研修を企画しておりますので是非参加してみてください。研修の他、介護福祉士が安心して従事でき、利用者様が介護保険を安心して利用できる環境づくりにも活動を広めていきたいと考えております。その他、介護カフェと

称した意見交換会をZoom併用で定期開催したいと企画しております。日頃の現場での悩み事の相談や、新アイデアのきっかけ作りに良い環境になると考えております。自分の事業所以外でどんな介護がされているか興味が湧きませんか？事業所の垣根を越えた横のつながり、一緒に作ってみませんか？初回は9月開催予定です。こちら是非チェックしてみてください。



東信支部

支部長 ● 金子 周平

私が介護福祉士を目指したのは、祖母がヘルパーさんのお世話になっていた姿に感銘を受けたのがきっかけでした。のちに介護職員初任者研修(ホームヘルパー2級)を取得し介護の仕事へ転職。特養へ入職すると利用者様のお名前や疾患等、覚えることが多々あり苦労しましたが、利用者様や職員の励ましがかり乗り越えてきました。働きながら介護福祉士を取得するまでの道りは険しかったですが、これらの経験を土台に、更に自身のスキルアップを目指したいと思います。

東信支部も年々役員数が減少しており負担が増えています。先日、約3年ぶりに支部役員会を対面で開催しました。各ブロック毎に意見が活発に出て充実した会議でした。将来的には、役員会議だけでなく、例えば毎月会合や食事を開催し役員や会員、介護の仕事をしている人の「つながり」を大切に、活動することが楽しいと思える支部にしたいと思います。よろしくお願い致します。



中信支部

支部長 ● 杉本 裕美子

『メタバース』という“仮想空間”で行われた今年度の総会は、当番支部であった私たち中信支部にとって、思った以上に大きな挑戦となり、結果的には、支部の会員さんが様々な形で力を出し合い、他支部のみなさんご協力もいただきながら、未知なる世界に次の景色をみたような、そんな体験となりました。

中信支部は、北は白馬・大町から、南は木曾地域と、南北にとっても広くその活動領域を担っています。担う地域が広く、会員数も多いわけですが、実際にはその広い地域の隅々まで行き

渡るような情報発信、活動ができていたとは言えません。コロナ禍を経て、コミュニケーションの形そのものが変化した中で、支部の活動についても、あらためて“つながり方”を探し出すべき時ではないかと思います。これまで紡いできた関係と、ここからあらたにつないでいく関係、そのどちらも大切にしながら、この1年も一つひとつの活動を、丁寧に実践していきたいと思っています。



南信支部

支部長 ● 中原 理恵

思い起こせば十数年前、子育てが少し落ち着いてきた頃に、ママ友を通じて『ヘルパー講座の参加人数が足りないから…』と誘われ社協の資格取得講座へ参加。デイサービスで母方の祖母がお世話になっていたご縁でパート務めをさせて頂いたのが介護職のスタートでした。現在は訪問介護事業所に勤務し、会の連絡員やブロック長なども経験させて頂きながら、今年度は大役を担うことになりました。南信支部に限ったことではないかもしれませんが、長野県は各支部エリアが

広く、南信は連絡員を出す事業所も減少傾向にあったり、運営面も困難な場合が色々あります。そんな中でも、自分の職場とは違った様々なところで仕事をしていたり経験をされている会員さんと対話ができたり、研修などで一緒に企画運営をしたりすることは、新鮮な景色に出会える機会をもたらされています。私も未熟ながら、役目を果たせるよう自分なりに精一杯向き合って参りたいと思っています。



ファーストステップ研修・認定介護福祉士養成講座



ファーストステップ研修報告

東信支部 倉島 征也

01 受講のきっかけは？

私が研修を受講したきっかけは、介護主任として更なる自己研鑽を行う為でした。他の介護主任達も過去に受講していた事もきっかけの一つでしたが研修としても以前から興味があり、今回受講させていただきます。

02 受講しての感想は？

研修での課題を通して、自分の日頃のケアや業務について振り返る事が出来たため、受講前より根拠を持ったケアの実践が出来るようになったと感じています。グループワークも多く、今年度の受講生同士の仲も深まり、他の介護現場の状況など知ることも出来ました。ここでの経験、出会いは私にとって大切なものであると実感しています。研修で学んだ事を、まずは自職場で実践が出来るように、改めて研修の内容についても振り返ろうと思います。研修内容も研修の雰囲気もとても良く、多くの介護福祉士が受講をして欲しいと感じられる研修でした。

03 今後の展望を教えてください！

私は主任としてスタッフの目標となれる介護福祉士を目指し、今後も多くの知識や技術の習得をしていきたいと考えています。その一方で介護福祉士が国や社会にもっと認知され、私達の仕事が評価されるよう、現在は長野厚生連・県医労連の介護対策委員として活動をしています。国や県に対して私達が働く介護現場の実態や処遇改善について訴え、様々な介護現場で働く介護職員が今後も働き続けられるよう取り組みたいと考えています。医療・福祉の現場は少子高齢化の影響により、高齢者も多い中、若い人材の確保が困難になっています。現在では人生百年時代と言われ、そこで働く職員の高齢化も深刻な問題であると感じています。高齢者や障害者の受け皿である病院・介護施設で生活する方々が安心して生活が出来るよう、介護職員は専門性を発揮し、質の高いケアの提供に努め、その中で職員がやりがいを持って働き続けられるよう、労働環境改善に向けた取り組みに力を入れたいです。



認定介護福祉士養成講座報告

養護老人ホーム「温心寮」介護福祉士 新村 千草

01 「認定介護福祉士」とは

「認定介護福祉士」とは介護福祉士のキャリアアップのための「新しい仕組み」です。「認定介護福祉士」は介護福祉士の資格習得後も、「継続的な教育機会を提供し、資質の向上を図り、社会的な要請にこたえていく事」を目的として作られた「介護福祉士の為の仕組み」です。生活を支える専門職としての介護福祉士の資質を高め、「①利用者のQOLの向上②介護と医療の連携強化と適切な役割分担の促進③地域包括ケアの推進」など、介護サービスの高度化に対する「社会的な要請にこたえる事」を目的としています。

02 「認定介護福祉士」の効果

「認定介護福祉士」の効果は、「①サービスの質の向上が利用者のQOLの向上へ」と繋がり「②効果的・効率的な運用が介護人材不足の解消へ」と繋がり「③介護サービスにおける連携が地域包括ケアの促進へ」と繋がります。「認定介護福祉士」は「地域における介護力向上のための助言・支援をする者」「事業所や施設の介護サービスマネージャー」「介護サービス提供における連携の中核となる者」であります。

03 「認定介護福祉士養成講座」とは

「認定介護福祉士養成講座」とは「地域と関わる力」「十分な介護実践力」「介護職チームへのリーダシップ」「他職種連携」という力を身につけるための講座です。「認定介護福祉士」になるためには「ファーストステップ講座」を受講します。「認定介護福祉士養成研修」は、総時間数600時間の9領域22科目を「認定介護福祉士養成研修1類」「認定介護福祉士養成研修II類」に位置付けています。「1類」では「医療/リハビリテーション/福祉用具/住環境/認知症/心理/社会的支援/生活支援/介護過程/の領域」「2類」では「医療/心理/社会的支援/マネジメント/自立に向けた介護実践の指導領域」がカリキュラムとなります。

04 講座を受講して

「ファーストステップ養成研修」を受講された皆さんで「やってみよう」と思う方は是非受講してみてください。資格というだけでなく受講生同士の繋がりもあります。他県から受講されている方も何人かいらっしゃいました。先生方及び支えている職員の皆さんの熱い指導協力のもとで学ばせていただきました。

事務局からお知らせ

長野県介護福祉士会 歴代会長座談会を行いました!

6月初旬、鈴木会長の提案により歴代の会長が集まる座談会を行いました。長野県介護福祉士会が発足し31年。会を支え全国一の組織率を誇る会に育て上げてきた5人の会長が一堂に会し、これまでの会の組織作りと、時代の変化に合わせたこれからの組織作りについて熱く語られました。また、今年度の総会をメタバースという仮想空間で行うことについても理解を求め、この座談会により、都合の合う限り歴代会長等にもご参加いただけることとなり、p2に掲載した通りメタバース空間での歴代会長と会員との交流が叶いました。

後日談として、初代会長の小島つる江さんにお話を伺ったところ、「上村さん(2代目会長)と、もう私たちは忘れられてしまう時代になってきたねと話していました。なのに、あそこであんな風にやらせてもらって、まさかあんな経験ができるとは思っていませんでした。今はもう身体的に遠くに出かけて行くことはできないので、自宅近くから参加できてとっても良かったし、あんな事(画面の中でアバターで交流)ができるなんてとっても不思議な感覚でびっくりしました。あのような経験をさせてもらってとっても嬉しかったし、ぜひまた参加させてもらいたいです。」と嬉しいお言葉をいただきました。時代は変わり続けますが、形を変えながらも長野県介護福祉士会のスピリットを伝え受け継いでいかねばと強く感じました。



会長再任のごあいさつ



2023メッセージ

～そこから広がる繋がり・新たな挑戦～

会長 鈴木よし子

令和5年度定時社員総会において、会長に再任されました鈴木よし子でございます。今年度はメタバースで総会を開催いたしました。初の挑戦でしたが、会員202名の他、非会員、一般の方含めると計350名の申し込みがありました。会員は勿論、非会員、他団体の方々にも広く参加していただいたことに感謝申し上げます。

今年度の目標は、

- ① 介護の質を担保するため、ブロック研修を強化するとともに、介護に携わる者の情報交換の場を作り会員をつなげます。
- ② 地域貢献を目的に地域に目を向け、共生社会の実現を多職種と進めていきます。
- ③ 変化するニーズに柔軟に対応し、組織強化を図ります。

いつも楽しそうに前向きに!みなさんを研修にお誘いし仲間を増やしていきましょう!

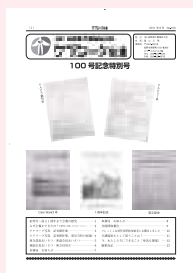
『ケア輪久』

ケア輪久ってなんだろう？

広報紙の最後を飾る「ケア輪久」←これってどんな意味があるか知っていましたか？「輪久」で「ワーク?」「リンク?」。実はケアとつなげて「ケアワーク」と読みます。広報紙のタイトルと同じ「ケアワーク」をもじって「ケア輪久」です。もちろん介護福祉士がケアをつなげる、会員同士がつながる、他職種とつながる、地域とつながる「輪」、元気が「湧く」「わくわく」する組織を目指す「輪久(わく)」、「連動・連結」を意味する「リンク」。このページは各支部の担当者が工夫をこらして古今東西、介護の色々なヒト、コト、モノについて掲載していくページです。あなたの知らない新しい介護に「つながる」きっかけになること間違いなし。ここで過去のケアワークをちょっと紹介!



りんどう(ケアワーク)1号
長野県介護福祉士会設立前は介護福祉士の集いという名で活動しており、会設立直前に発行されたケアワークの前身となった広報りんどう。



ケアワーク100号
記念すべき100号では、これまでの広報誌を紹介する内容となっていました。



ケアワーク143号
143号。これまで単色だったケアワークですがこの号からカラーになりました。



編集後記



これまで会を支えてきた先人達と、これから発展させていく実践者。そんな、たくさんの人々の期待や希望、夢を載せた広報紙「ケアワーク信濃」が、前号より装いを新たに発行されました。暑い夏のお供に、水分補給と学びを忘れずにこれからの「care workしなの」をお楽しみに!

東信支部 山本雅史

長野県介護福祉士会広報誌「ケアワーク信濃」

Vol.170(2023年9月号)

発行:公益社団法人 長野県介護福祉士会
会長:鈴木よし子



<事務局>

〒380-0936 長野県長野市中御所岡田98-1 長野保健福祉事務所所庁舎2F
TEL:026-223-6670 FAX:026-223-6679
Email:info@kaigo-nagano.jp